

# 「伊豆の踊子」マップ製作

静岡文化芸術大  
学生と観光協 河津の魅力たっぷり

河津町観光協会と静岡文化芸術大(浜松市)の学生がこのほど、同町を舞台にした作家川端康成の代表作「伊豆の踊子」をテーマにした散策マップを製作した。イラストは同大出身で、県内在住の漫画家まるかわさんが担当

し、作品の場面やゆかりの地を親しみやすく描いている。

製作に携わったのは、いずれも同大文化政策学部3年の川嶋結麻さん(20)、外川内瑞季さん(21)、山崎あかりさん(21)。3人は同大の二本松康宏教授が

担当する「地域連携演習」の一環として、2019年10月から2度、町内を訪れるなどしてマップの構成を検討した。コロナ禍での休止もありながら、完成にこぎ着けた。

A4判三つ折りのマップには3人のラフデザインを基に、まるかわさんが考案した川端や学生3人をモデルにしたキャラクターが登場する。川端が実際に宿泊した同町の湯ヶ野温泉の旅館「福田家」や、町内のカフェなどを若い女性の視点で紹介している。

26日に町役場で開かれた完成報告会で、山崎さんは「『伊豆の踊子』になじみの薄い若い人たちにも見てもらえるよう工夫した」とアピールした。岸重宏町長は「このマップで河津桜だけではない町の魅力を多くの人に知ってもらいたい」と話した。

町観光協会は1300部を製作。同協会事務局や駅などで配布する。(下田支局・尾藤旭)



静岡文化芸術大の学生と河津町観光協会が製作した「『伊豆の踊子』散策マップ」―河津町役場